

3-3. 鹿野川ダム改造に伴う 環境保全措置について

①鹿野川ダム改造事業の進捗状況 について

工事の進捗状況



トンネル洪水吐 吐口付近
(1月13日現在)



トンネル洪水吐 呑口付近
(1月13日現在)

②鹿野川ダム改造事業における 環境保全措置等について

環境保全措置一覧(第3回委員会報告時)

項目		環境保全措置
大気質(粉じん等)		○
騒音		○
振動		○
水質	土砂による水の濁り	○(工事中)
動物	シイノキメクラチビゴミムシ	○
植物	シラン、エビネ属の一種	○
景観		○
人と自然との触れ合いの活動の場		○
廃棄物等		○

鹿野川ダムにおけるこれまでの環境保全の取り組み

項目	内容
大気質(粉じん等)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事区域出口での工事車両タイヤの泥落としの実施 ・散水の実施 ・排出ガス対策型建設機械の採用
騒音	<ul style="list-style-type: none"> ・防音ハウス・防音扉(2枚)設置 ・防音カバーの設置(鋼管打設時) ・低騒音型・超低騒音型建設機械の採用
水質	<ul style="list-style-type: none"> ・建設発生土処理場に沈砂池の設置 ・汚濁防止膜設置 ・濁水・土砂回収装置の設置による濁水の処理
動物	<ul style="list-style-type: none"> ・シイノキメクラチビゴミムシの追加調査 ※
植物	<ul style="list-style-type: none"> ・シランの移植、維持管理、モニタリング ・エビネ属の一種の移植、維持管理、モニタリング ※
人と自然との 触れ合いの活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・リギング場及び坂路の復旧 ・低騒音型・超低騒音型建設機械の採用
廃棄物等(伐採木)	<ul style="list-style-type: none"> ・再利用の促進

※ :平成23年の第4回委員会で保全措置対象種から削除

赤字:平成26年に実施した環境保全の取り組み

③大気質(粉じん等)、騒音、振動等の 環境保全の取り組みについて

環境保全措置の実施状況

(a) 工事用車両のタイヤ洗浄



建設発生土処理場出口でタイヤ洗浄を実施。

(b) 散水の実施



工事用車両が通行する道路で散水を実施。

環境保全措置の実施状況

(c)排出ガス対策型建設機械の使用



(d)防音カバーの設置



鋼管打設時に防音カバーを設置。

環境保全措置の実施状況

(e)低騒音型・超低騒音型建設機械の使用



対応方針(案)

- 引続き、散水・低騒音機械の使用等の環境保全措置に取り組む。

④水質の環境保全の取り組みについて

建設発生土処理場に沈砂池を設置



平成22年に設置した沈砂池により、降雨時に裸地から河川に流れる濁水を低減している。



対応方針(案)

- 水質については、これまでの環境保全の取り組みを継続する。

⑤植物の環境保全の取り組みについて

平成22年度の移植内容

種名	数量	移植先	移植方法の概要	実施年度
シラン	24株	肱川右岸 及び湿性圃場	掘取り後移植	平成22年度

○モニタリング実施状況

肱川
右岸



移植後の生育状況(平成22年9月)



開花の状況(平成25年5月)



開花の状況(平成26年5月)

湿性
圃場



移植後の生育状況(平成22年9月)



開花の状況(平成25年5月)



開花の状況(平成26年5月)

肱川右岸、湿性圃場に移植した個体の開花・結実を確認し、生育状況は良好である。

対応方針(案)

- 植物については、移植後の生育を維持するため、引き続き維持管理・モニタリングを実施する。

⑥廃棄物等(伐採木)の環境保全の 取り組みについて

環境保全措置の実施状況



伐採木を無料配布し、再生利用の促進に取り組んでいる。

対応方針(案)

- 廃棄物等(伐採木)については、これまでの環境保全の取り組みを継続する。

⑦鹿野川ダム水質改善について

鹿野川ダム水質検討会の開催状況

- 第 1回 平成19年11月30日
- 第 2回 平成20年 2月 5日
- 第 3回 平成20年 4月18日
- 第 4回 平成20年10月27日
- 第 5回 平成22年 1月21日
- 第 6回 平成23年 2月16日
- 第 7回 平成24年 3月 1日
- 第 8回 平成25年 2月 6日
- 第 9回 平成26年 1月29日
- 第10回 平成27年 1月26日



第10回
鹿野川ダム水質検討会

第10回 鹿野川ダム水質検討会 議事内容

○貯水池内対策

- ・アオコ発生抑制
- ・溶出負荷抑制対策

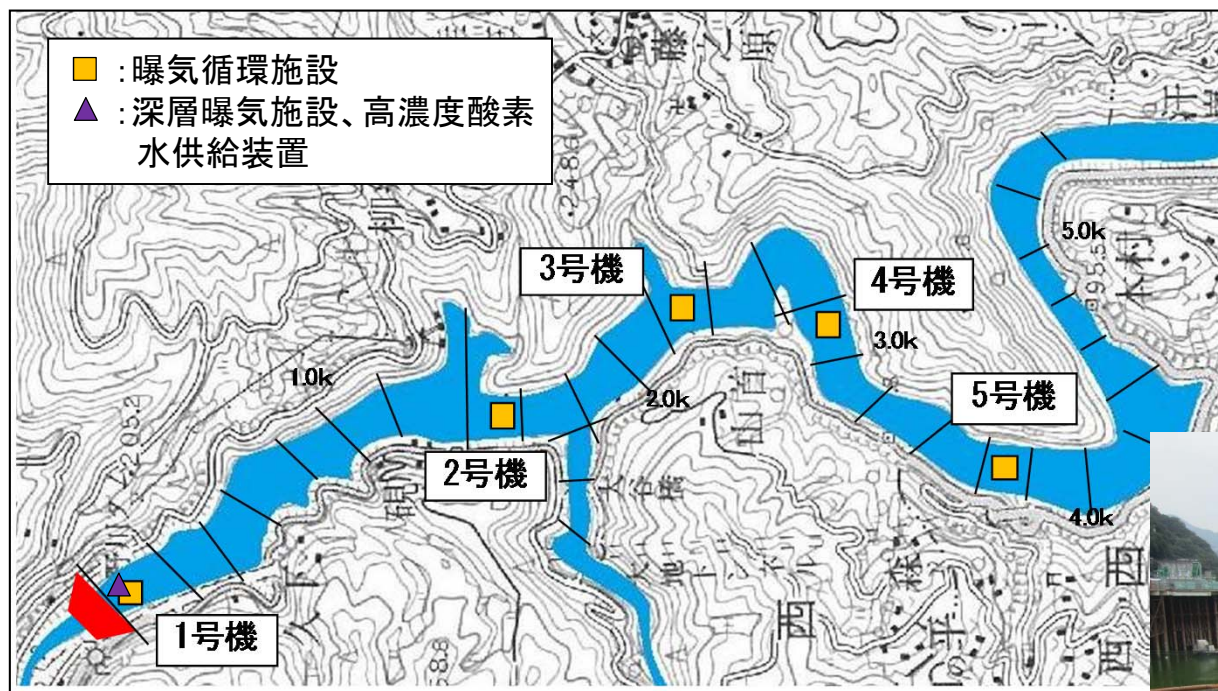
○流域対策

- ・流入支川の水質改善

赤字：平成26年度に実施した検討会

曝気循環施設等の位置

- 現在、曝気循環施設は5機設置しており、アオコ発生抑制を目的として5月～10月にかけて運転している。
- 深層曝気施設、高濃度酸素水供給装置を平成25年度末に設置しており、平成26年度は試行運用を行った。



※本資料に掲載している地図は、国土地理院発行の数値地図50000を使用して作成したものである。



(ダム堰堤から見た各施設に位置関係)